

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

熊本輸送団地協同組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		毎年度、組合でスローガンを定め、毎月開催されている理事会等で唱和し共有を図っている。								8	9							17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		共同事業・コンプライアンス委員会を設置しており、業界の動きや改正される制度等を確認し、展開を図っている。															16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		事業規約内において係争の防止を定めており、組合員に周知している。また、熊本県トラック協会の中支部事務局として、公正で且つ地域一体となった活動を行っている。									10						16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		青年部会を組織しており、SDGsをはじめ、事業継続力強化計画の認定などに取り組み体制を構築している。																16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		共同事業を行うにあたって、その会議及び取引によって知り得る機密情報が漏えいすることの無いよう、事業規約内で定めている。								8.2	8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		管理担当者が、社内外で知り得た個人情報を適切に管理、保管している。																16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		毎月理事会を開催し、事業報告並びに今後の事業展開について検討している。また理事会には全ての組合員が参加しているため、密な情報共有ができ、満足度向上の一助となっている。															16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		令和2年に連携型事業継続力強化計画に認定を受けており、担当部会で定期的に見直しを行っている。また、災害時の連絡網を整備しており、一坪コンテナを設置し災害備蓄品の保管を行ったりしている。										9		11				13.1	16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		青年部会を組織し、次世代の後継者又は企業の中核になり得る人材の育成に取り組んでいる。									8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2				5				8						12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		勤勞意欲がある者は、60歳以降雇用体制を変えながら70歳まで雇用しており、セクシャルハラスメント防止も就業規則に定めている。				4.3	5.1			8.5									16.1			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎月現場担当者との会議を通じて、施設内の問題点や設備の不備などを洗い出し、従業員が働きやすい環境を整えている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員は雇用形態に関わらず、公正な待遇を行っており、アルバイトにも業績に応じて賞与を支給するなどとしている。					5.5			8.5								10.2		10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		令和4年度より年間休日数を87日から105日に引き上げ、プライベートとの両立を図るワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5								10.3				
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		組合外で開催される事故防止講習会や各種セミナーの案内を組合員に配信している。また、コロナ禍前に実施していた安全運転講習会といった人材育成事業を再度企画し、定期的で開催している。					4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年一回の健康診断をはじめ、インフルエンザの予防接種等の費用補助を行っている。			3						8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営に女性や高齢者の差別はなく、公正な待遇を行っている。				4.4	5.1	5.5		8.5								10.2		10.3		16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		一部の会議やセミナーはWEB形式を取り入れており、対面による会議の際には、会議室の換気徹底や十分なスペース確保及び消毒の徹底を心掛けている。また、従業員へのマスク配布やアクリル板設置を行っている。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9						12				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

熊本輸送団地協同組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ガソリンをはじめとした油の流出が起らないよう、消防法をはじめとした各種法令に則り、適正な管理保管体制を敷いている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ハイブリッドの社用車の導入や、施設のLED化によるエネルギー使用削減に取り組んでいる。また、使用電力をエクセルに一覧化し、ガソリン量は給油所内システム(BOS)にて把握している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		当組合を通じてコンテナ輸送ができる環境を構築するなど、CO2削減の取組みを実施しており、熊本県ホームページ掲載の簡易計算シートにより、温室効果ガスの排出量を把握し、抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		ゴミの分別を推進したり、組合員へエコドライブ協力の呼びかけを行ったりしている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		裏紙の積極利用を行い、FAXのPDF化により、必要なもののみを印刷処理している。また、一部業務において、ペーパーレス化を実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		普段からの節水の他、食洗器導入や洗濯機入替などの設備整備を行い、使用水量の削減に取り組み、水資源の保全に努めている。また、油水分離層の設置など、油の流出を防いでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		排出されるゴミが少ない事務用品の購入を推奨しており、組合員へエコドライブを推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		FIT(固定価格買取制度)に入札し落札できているため、今後太陽光発電の運用に取り組んでいく予定である。(年度中に運用開始予定)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			環境に配慮した取組みとして、ハイブリッドの社用車を導入している。									9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

熊本輸送団地協同組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		組合を軸に連携型事業継続力強化計画の認定を受けており、災害に対するリスク管理及び安定輸送の確保できる仕組みを構築している。			3.9						9			12.4													
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		会館入口のスロープ設置やトイレ環境の整備を行っている。									9.1	10	11.7												17		
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17				
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15										
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17				
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本県トラック協会などを通じて、地域の清掃活動や事故防止の街頭活動へ積極的に参加している。また年1回、組合が所在している団地内の清掃活動を実施しており、地域の美化活動を積極的に推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		給油所における予防規定の整備や組合会館に隣接して一坪コンテナを設置し、コンテナ内に水や食料などの災害備蓄品を保管している。				4							11.5		13.1			16									
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	連携型事業継続力強化計画認定を受け、被災時において早期復旧が可能な環境整備を行っており、前述の一坪コンテナを組合員全社へ貸与している。		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17							
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1											
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2											17			
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6													17			
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2			4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15					17				

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。